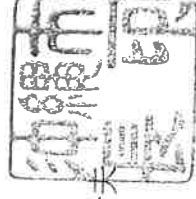


沖市基第0716001号
平成27年7月16日

沖縄防衛局
局長 井上 一徳 様



沖縄市長 桑江 朝千未

沖縄市サッカー場における汚染拡散防止策について（要請）

沖縄市サッカー場の調査業務につきましては、日頃よりご尽力頂き真に感謝申し上げます。さて去る台風9号の来襲時に沖縄防衛局をはじめ沖縄県の協力をえながら進めさせて頂いているところです。特に沖縄防衛局管理部におかれましては、調査業務のほか、本市議会の現地説明会の対応を頂き丁寧な説明を頂いているところです。これまで国、県、市の三者において雨季や台風シーズンに備えるべく、協議を行い対策がとられてまいりましたが、台風9号の襲来により雨水対策用のシートが大幅に剥離し、廃棄物混じり土や窪地の排水等、汚染の可能性がないか、市民や議会からも不安の声が出ております。

つきましては、今後の早期対策について現段階での懸念事項を別紙にまとめておりますので、一刻も早く対策を講じられますようお願い申し上げます。

別紙

1. ブルーシートでは耐久性が弱く、市ゴミ山で使用されている遮水シート等の耐久性の高いシートを使用すること。
2. 養生手法については、シートの継ぎ目が剥離せず、且つ隙間から雨水の進出が無いよう十分な対策をとること。
3. 廃棄物まじり土（仮置き）については、野積み形態からフレコン（浸出防止）保管へ変更すること。
4. 搬出スケジュールが長期に渡り、今後の被害が予測されるため、予算増額を測り搬出プログラムを早期に終結を図ること。
（除染・除去・原状回復の目途が立っていない）
5. 廃棄物まじり土周辺及び掘削地に溜まった雨水については、早期にサンプルを採水し安全が確認されてから放出すること。
6. 市民の安全で安心な雨水（防風）対策を早期に図ること。